

重点感染症に対するワクチンの現状・利用可能性の確保の検討(案)

重点感染症(暫定リスト)等に対するワクチンの承認状況

凡例:○..承認薬あり/×..承認薬なし

区分	疾患名	FDA承認薬	国内承認薬
A	天然痘	○	○
B	SARS	×	×
	MERS	×	×
	RSウイルス	×	×
	デング熱	○	×
	ジカウイルス	×	×
	チクングニア熱	×	×
	重症熱性血小板減少症候群	×	×
	エボラ出血熱	○	×
	ラッサ熱	×	×
	エンテロウイルス	×	×
		※中国で承認済ワクチンあり	
		ニパウイルス	×
D	マラリア	×	×
		※WHOで認められたワクチンあり	
	狂犬病	○	○
	炭疽	○	×

区分	疾患名	FDA承認薬	国内承認薬
NTD	ブルーリ潰瘍	△ ※BCGIは既承認だが当該適応なし	△ ※BCGIは既承認だが当該適応なし
	ハンセン病	△ ※BCGIは既承認だが当該適応なし	△ ※BCGIは既承認だが当該適応なし
	アメリカトリパノソーマ	×	×
	アフリカトリパノソーマ	×	×
	リンパ系フィラリア症(象皮病)	×	×
	リーシュマニア症	×	×
	トラコーマ	×	×
	トレポネマ感染症(イチゴ腫含)	×	×
	囊尾虫症	×	×
	メジナ虫症	×	×
	包虫症	×	×
	食物媒介吸虫類感染症	×	×
	オンコセルカ症(河盲症)	×	×
	住血吸虫症(ビルハルツ住血吸虫)	×	×
	土壌伝播寄生虫症(腸内寄生虫)	×	×

Vaccine Preventable Diseaseと重点感染症の比較～

● CDCでは、ワクチンの使用目的(ゴール)に応じてVPDをグループ分けしている

- 日本でも、定期接種として平時利用しているワクチンあり

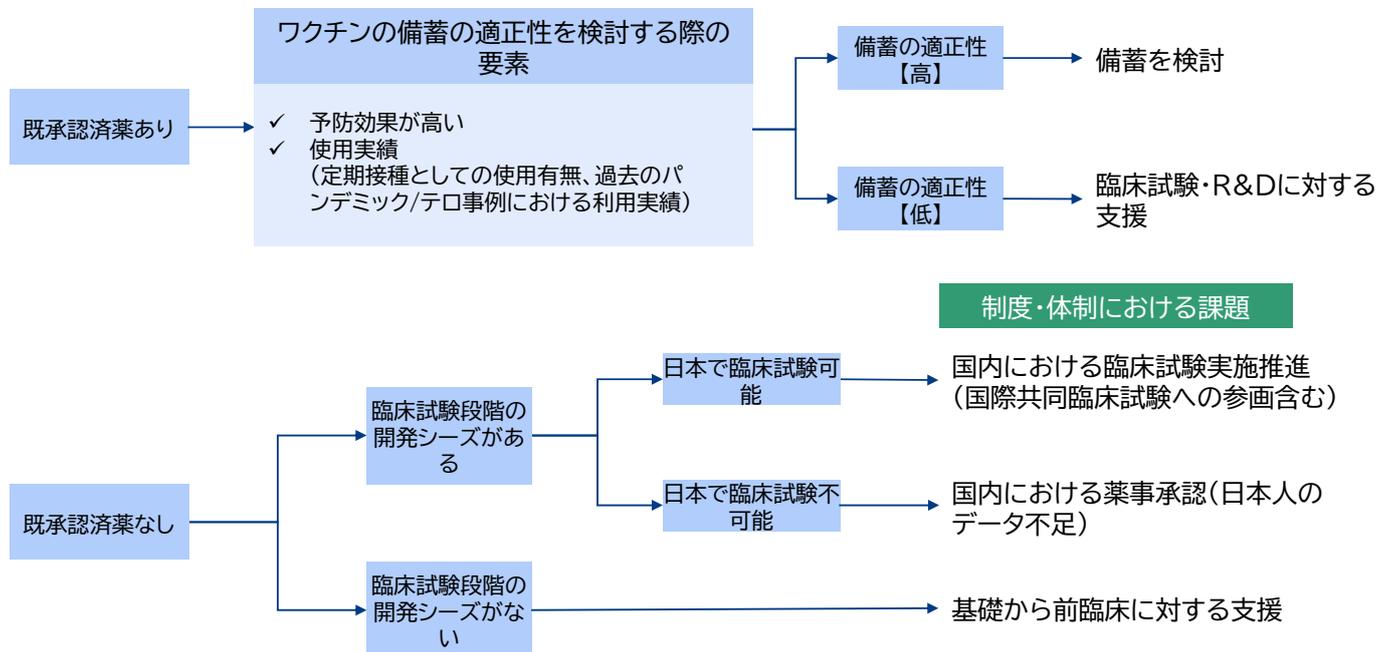
※黄色ハイライト: 日本で承認済みワクチンあり

ゴール	定義	感染症名	日本の重点感染症に含まれているもの	予防接種法の下、定期接種で対応可	ゴール	定義	感染症名	日本の重点感染症に含まれているもの	予防接種法の下、定期接種で対応可	
Eradicate	世界的に、自然界から当該病原体を無くす	ポリオ	×	○ (4種混合)	Control	②コントロールできておらず、国内全域でのワクチンプログラムを実施すべきターゲット	ジフテリア	×	○ (4種混合、2種混合)	
Eliminate	①特定地域における伝播を無くす	麻疹	×	○ (MRワクチン)			Hib	×	○	
		風疹	×	○ (MRワクチン)			百日咳	×	○ (4種混合)	
	②公衆衛生面での問題を無くす	髄膜炎菌性髄膜炎	×	×			肺炎球菌感染症	×	○ ※小児はA類疾病、高齢者はB類疾病	
		子宮頸がん(ヒトパピローマ)	×	○			ロタウイルス性胃腸炎	×	○	
		コレラ	×	×			破傷風	×	○ (4種混合、2種混合)	
		B型肝炎	×	○			③コントロールできておらず、各感染症の負荷に応じたワクチン接種を実施すべきターゲット	COVID-19	○	×
		狂犬病	○	×				デング熱	○	×
		破傷風(新生児)	×	○ (4種混合、2種混合)				エボラ出血熱	○	×
インフルエンザ	○	○ ※B類疾病	A型肝炎	×				×		
Control	①伝播・死亡をコントロールできているターゲット	日本脳炎	×	○	E型肝炎	×	×			
		結核	×	○	流行性耳下腺炎	×	×			
		黄熱	×	×	腸チフス	×	×			
					水痘	×	○			

出所) CDC, Vaccine-Preventable Diseases. <https://www.cdc.gov/globalhealth/immunization/diseases/index.html> (2022年9月30日閲覧)

ワクチンの利用可能性確保検討に関するロジック案

- 既承認済薬のあるワクチンの利用可能性確保の適正性について、評価指標を「予防効果／使用実績」等と整理し、ロジックを検討
- 既承認済薬がない場合、「臨床試験段階のシーズの有無／日本における臨床試験の可能性」としてロジックを検討



利用可能性確保リストに追加を検討すべきワクチン

● VPD視点で必要な疾患について

- **ポリオ**: ニューヨークでcVDPVP2株と疑われる発生例が報告されている。ワクチン由来株ではあるが、ワクチン歴のない宗教集団で確認されている。日本に入ってくる可能性は高くないが、ポリオはPHEICの対象である。ポリオは4種混合ワクチンが定期接種で使われているが、それで封じ込めや高リスク者に接種できるのか検討が必要。また、1型の免疫の低い集団が昭和50～52年生まれにいる。
- エンテロウイルス・ポリオは糞口感染による伝播力がある。狂犬病や破傷風よりは何かが起こるリスクは高い。
- **髄膜炎性髄膜炎**: ACWY群は国内でワクチンが承認されているが、B群は国内にワクチンがない(欧米ではある)。抗菌薬の予防内服は有効である。
- **アデノウイルス**: 小児の重症肝炎にアデノ41が関与しているのであれば、ワクチン開発候補になる。英国では重症例が増えており、半数からアデノ41が検出された。健常児の症例も増えており、騒ぎになる可能性がある。
- **海外ではワクチンで対応されているが、日本では対応できていないものを選定する必要あり**。NTD関連では、ダニ媒介脳炎は海外の一部の国でワクチンがあるが、国内ではない。北海道では散発的に発生している。
- 班会議以降の動きを踏まえると、**アデノ・ポリオはリストに含めても良い**と考える。
- ポリオ、狂犬病、ジフテリア等について、出ってしまったら、社会的インパクトは大きい。